

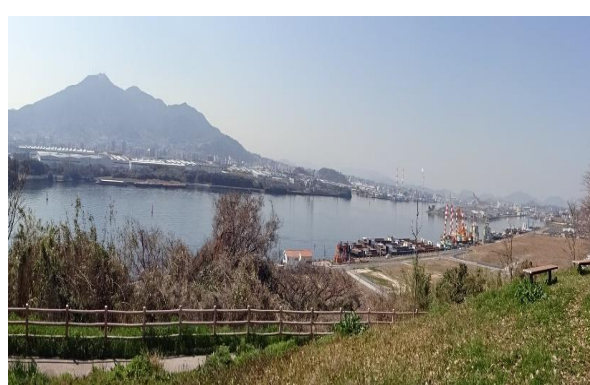
安心・安全 笑顔あふれる(元気で明るい)支え合いのまち古前

古前地区元気プラン

住民発！

古前地区 小地域福祉活動第一次計画

360度眺望の岬山公園



ふれあいネットワーク



古前地区社会福祉協議会

ごあいさつ

古前地区は、国道199号線沿いから高塔山の裾野斜面に面し、住宅が広がり南の洞海湾沿いのくきのうみ中央の開発地域は、戸建て住宅用地60区画に、若い世代が55世帯住んでおり、工業施設用地には、ホームセンター・建設会社・タクシー会社等があります。

地区の高齢化率は高く41.2%となっていますが、元気な高齢者が多く世代間交流が進んで住み良い地域です。

社会福祉活動は昭和45年4月に取り組み、平成6年度（1994年）に「ふれあいネットワーク活動推進事業」として指定され、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を基本理念のもと、「見守り・助け合い・話し合い」の活動を中心にまちづくり協議会をはじめ他団体と社会福祉関係者が協力して小地域福祉活動を進めてきました。

さて、世界の中でも、日本の少子高齢化は、顕著であり、北九州市の高齢化率は、31%で20政令指定都市中最高となり孤独死や認知症等の問題など地域の生活（福祉）課題は多様化をみせているのが現状です。これらの問題に対し、北九州市では、「北九州市地域福祉計画北九州市の地域福祉 2021～2025」を策定し、福祉課題の解決に向けて、この度、「地域共生！きたきゅうプラン」を策定し民間団体と役割分担し、各地域での福祉課題の解決に向けて推進することになりました。

古前地区においても新しい課題が生まれてきており、今後地域福祉活動を進めていくためには、地域福祉を担う各種団体がもう一度地域の福祉活動を共有し、課題の解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。そこで、北九州市の地域福祉計画及び地域共生きたきゅうプランと整合性を持ちながら、住民主導により地域福祉活動を進めるため、新しい小地域福祉活動計画を策定しました。

この計画の策定にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶いたします。

古前地区社会福祉協議会
会長 結城章生



もくじ

ごあいさつ	・・・1P
第1章 計画策定にあたって	・・・2P
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 古前地区の現状と課題	・・・3P
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	・・・4P
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	・・・8P
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第2次計画の策定	
参考資料	
1 推進委員会名簿（予定）	
2 策定委員会での協議事項	

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

古前地区の様々な福祉課題を解決するために、地域住民・諸団体等が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

古前地区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の基本とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会と連携する計画

北九州市及び北九州市社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 古前地区社会福祉協議会の活動指針となる計画

社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間は

令和5年度から令和9年度の5ヵ年とします。また期間中に地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直します。

3 計画の策定経過

コロナ禍の影響で集会等の開催が当初計画していた構想を変更し、地区F N W（ふれあいネットワーク）の3チームが会合を開き、意見交換・検討を行い、結果を事務局に提出。それを事務局でまとめたものを土台とし、会長・事務局・F N W 3事務長が協議し、計画素案を作成した。また民間の地域福祉に関する計画を策定するため、古前地区小地域福祉活動計画策定員会を設置し、地区関係団体に提案、意見交換・確認後に古前地区小地域福祉活動計画を策定しました。



第2章 古前地区の現状と課題

1 地域社会の動向

古前地区データ

令和4年9月30日現在

人	口	2, 514 人	保 育 所	古前保育所
			幼 稚 園	精華幼稚園
世 帯 数		1, 454世帯	小 学 校	くきのうみ小学校
			中 学 校	若松中学校、石峯中学校
高 齢 化 率		41. 2 %	市民センター・公民館	古前市民センター 古前公民館、第 22 区公民館
一人暮らし高齢者数		435人	地域包括支援センター	若松 1
高 齢 者 の み 世 帯		206世帯		
そ の 他 社 会 資 源 等	学童保育クラブ、若松児童ホーム、若松警察署、若松体育館、病院、公園等			

古前地区は、洞海湾を一望に見て、20区・21区・22区自治会のもと、古前市民センター、二箇所の公民館を拠点に各々ふれあいの場として地域活動の取組みを行っています。公共機関として、若松警察署、若松体育館、若松武道場、若松くきのうみ郵便局があり、商業施設も進出しています。

福祉施設は、古前保育所、若松児童ホームと連携し、各行事等で交流しています。

地区の高齢化率は41.2%と非常に高い一方で、住居の多くは斜面に立ち並んでおり、高齢者にとって厳しい生活環境です。しかし、くきのうみ中央地区の開発もあり、若い世帯数も増えつつあります。また令和4年4月には、修多羅小学校と古前小学校が合併し、「くきのうみ小学校」が開校しました。現在は旧修多羅小学校校舎を利用していますが、令和6年度から改修が終わった旧古前小学校校舎へ移転するため、今後は更に活気が出てくることが期待される地域です。

2 地域の福祉課題（および小地域福祉活動の課題）

古前地区では高齢化率が高い一方で、高齢者を始めとする支援が必要な方ほど、自治会に加入しておらず、十分に支援や必要な情報が届かない状態にあります。その状態を無くしていくため、より細やかな見守り活動や活動を通じた関係性を構築。また困りごとを適切に繋いでいくことが求められる中で、民生委員・児童委員を始めとする様々な関係機関・団体、さらに隣近所の住民の方とも連携し取り組んでいくことが必要です。



第3章 計画体系

1 基本理念 「安心・安全 笑顔あふれる（元気で明るい）支えあいのまち古前」

古前地区では、子どもから高齢者まで障がいのあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できる町にしたいと願っています。そこで「安心・安全 笑顔あふれる（元気で明るい）支えあいのまち古前」という言葉を計画の理念とし、計画を推進していきます。

2 基本目標

- (1) 人と人のつながりを大切にしよう
交流行事・活動の実施、福祉の風土づくりを通じた活動者の確保や研修会による育成
- (2) 安心・安全な地域をつくろう
関係機関・団体と連携し、見守り活動や災害といった緊急時のネットワークづくり
- (3) 活動を知って、参加してもらおう
広報活動による活動の周知、また身近な居場所であるサロン活動を通じた地域への参加促進
- (4) 組織の更なる充実を目指そう
担い手づくりに向けた活動の実施、公民館などの活動拠点の更なる有効活用

【活動の一例】

研修会



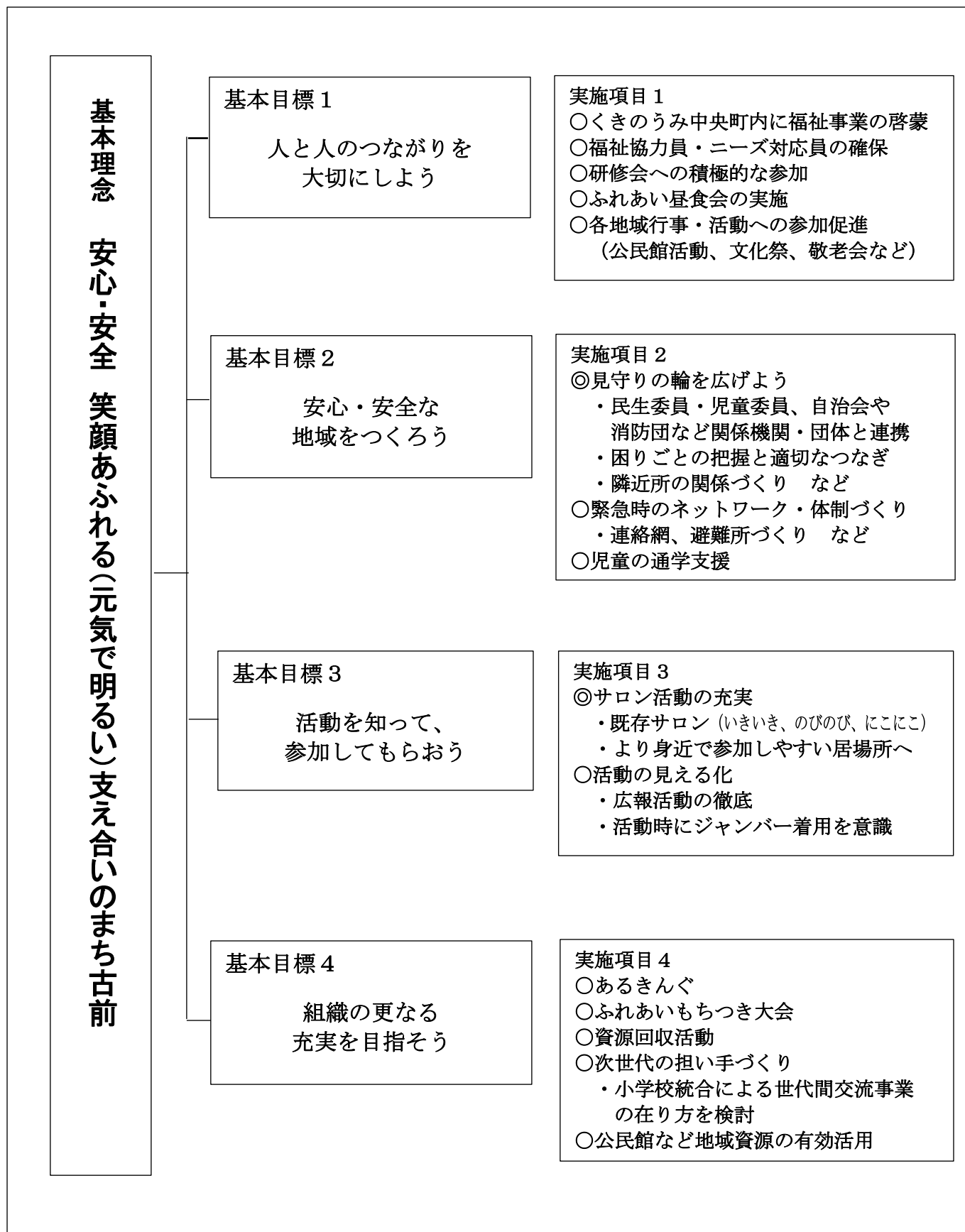
見守り訪問



サロン活動（折り紙教室、手作りのゲーム）



3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

重点実施項目 1		見守りの輪を広げよう					
1 課題背景							
古前地区では高齢化率が高い一方で、高齢者を始めとする支援が必要な方ほど、自治会に加入しておらず、十分に支援や必要な情報が届かない状態にあります。その状態を無くしていくため、より細やかな見守り活動や活動を通じた関係性を構築。また困りごとを適切に繋いでいくことが求められる中で、民生委員・児童委員を始めとする様々な関係機関・団体、さらに隣近所の住民の方とも連携し取り組んでいくことが必要。							
2 活動の方針・目標							
① 見守り支援が必要な住民の見直し ② 見守り活動の頻度や方法の検討 ③ 困りごとの共有と適切なつなぎ ④ 負担軽減に向けた取り組み							
3 段取り的な取組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	備考
見守り支援が必要な住民の見直し	・自治会 ・民児協						福祉協力員、ニーズ対応員とも検討
見守り対象者に適した、見守り活動の頻度や方法の検討	・自治会 ・民児協						福祉協力員、ニーズ対応員とも検討
困りごとの共有と適切なつなぎ	・自治会 ・民児協 ・消防団 ・北九州市社協 若松区事務所 ・若松区役所						連絡調整会議などの情報交換・共有の場を積極的に活用
負担軽減に向けた取り組み	・北九州市社協 若松区事務所						聞き取りなど不安に感じる点などについて、研修の実施。また活用しやすい訪問記録の様式など、必要に応じて取り組む
計画の修正・見直し	・推進委員会						特に中間（3年次）と更新（5年次）は重点的に行う。

重点実施項目 2

サロン活動の充実

1 課題背景

古前地区では、ふれあいを通して生きがい・健康づくり、仲間づくりの力を発揮するため、20区古前公民館で「古前いきいきサロン」、古前市民センターで「古前にこにこサロン」、22区公民館で「古前のびのびサロン」でサロン活動を実施しているが、今後も多くの地域住民の誰もが気軽に集まって出来るサロン活動の活性化が求められている。

2 活動の方針・目標

① サロンの年間活動計画の作成

② サロン活動の住民への周知

③ サロンの新設（より身近な単位で）

④ 参加しやすい環境づくり

3 段取り的な取組みの年次計画

取り組み内容	連携する機関	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	備考
サロンの年間活動計画の作成	自治会 民児協 北九州市社協 若松区事務所						各サロンで検討
サロン活動の住民への周知							社協だよりなど広報紙の既存の広報媒体の活用や案内チラシの作成
サロンの新設							都度検討はするが、それ以外は計画の重点的な見直し・修正に合わせて検討する
参加しやすい環境づくり							車いすの方など、様々な地域の方が参加されることが想定される。それに合わせた環境や対応の検討
計画の修正・見直し	推進委員会						特に中間（3年次）と更新（5年次）は重点的に行う。

第4章 計画推進

1 地域への計画の承認と周知

- ① 地区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配付等を通じた地区住民への周知

以上について、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、古前地区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

以上について、委員会では協議を進めていきます。

(2) 計画の進行管理

古前地区小地域福祉活動計画推進委員会を年3回程度開催します（当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催）。委員会では、PLAN（計画立案）DO（実行）CHECK（点検・評価）ACT（改善）というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第2次計画の策定

第1次計画の推進状況を踏まえて、第2次計画の策定期（計画第5ヶ年度）には新しく第2次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料【古前地区小地域福祉活動計画の経過】

1 古前地区小地域福祉活動推進委員会 委員名簿（予定）

	氏 名	委員会役職	所属団体・役職	備 考
1	結城 章生	委員長	古前地区社会福祉協議会 会長 第21区自治会 会長	まち協 副会長
2	岩男 學	副委員長	古前地区まちづくり協議会 会長 第20区自治会 会長	社協 副会長
3	田中 茂樹	副委員長	古前地区まちづくり協議会 副会長 第22区自治会 会長	社協 副会長
4	原田 良一	事務局長 会 計	古前地区社会福祉協議会 事務局長 古前地区社会福祉協議会 会計	まち協広報部会長
5	神野 広美	書 記	古前地区社会福祉協議会 書記	
6	船津 竜大	監 査	古前地区社会福祉協議会 監査	
7	植田 敏明	監 査	古前地区社会福祉協議会 監査	
8	小野敬太郎	委 員	古前地区青少年育成協議会 会長	
9	阿部 芳美	委 員	古前地区民生委員児童委員協議会 会長	福祉協力員 21区事務長
10	藤澤 花依	委 員	古前市民センター 館長	
11	恵藤ちか子	委 員	古前地区社会福祉協議会 福祉協力員	20区事務長
12	田中 智子	委 員	古前地区社会福祉協議会 福祉協力員	22区事務長
13	田中 武彦	委 員	古前地区まちづくり協議会 コミュニティ部会長	福祉協力員
14	赤瀬 正子	委 員	古前地区社会福祉協議会 福祉協力員	20区
15	花田 京子	委 員	古前地区社会福祉協議会 福祉協力員	20区
16	堀之内里子	委 員	古前地区社会福祉協議会 福祉協力員	21区
17	藤田 頼子	委 員	古前地区社会福祉協議会 福祉協力員	21区
18	眞野 弘美	委 員	古前地区社会福祉協議会 福祉協力員	21区
19	野平 節子	委 員	古前地区社会福祉協議会 福祉協力員	22区
20	長尾美沙子	委 員	古前地区社会福祉協議会 福祉協力員	22区
21	門司 安子	委 員	古前地区社会福祉協議会 福祉協力員	22区
22	石田 健治	委 員	古前地区まちづくり協議会 防犯・防災部会長	22区
23	合田三津子	委 員	古前地区まちづくり協議会 育成部会長	21区
24	三原 達也	委 員	くきのうみ小学校 校長	
25	大貝 弥朋	委 員	くきのうみ小学校 PTA会長	
26	松本 裕子	委 員	若松児童ホーム 施設長	
27	本多 也寸子	委 員	古前保育所	

2 古前地区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	令和4年6月22日	1 計画内容及び日程の検討
2	令和4年11月25日	1 計画内容及び日程の検討
3	令和4年12月7日	1 「古前地区小地域福祉活動第一次計画策定について」のマニュアルに沿って計画づくりの必要度のチェック 2 今までの活動内容を振り返り、現況での反省し改善するか又新しい企画で進めるか
4	令和5年1月12日	1 第2回・3回資料確認及び意見交換
5	令和5年2月9日	1 第3回資料確認及び意見交換
6	令和5年2月13日	1 計画策定に向けたワーキングの実施
7	令和5年3月9日	1 ワーキングを踏まえた計画冊子の修正案の確認
8	令和5年3月中旬～	1 まちづくり協議会に提案
9	令和5年3月下旬～	1 冊子の精査とまとめ

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』(Petit vosaurus)

Petit (プチ: ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)

古前地区社会福祉協議会

〒808-0062 北九州市若松区古前1丁目28番23 古前市民センター内

TEL 093-771-8202 FAX 093-771-8203

若松区社会福祉協議会

〒808-8510 北九州市若松区浜町一丁目1番1号 若松区役所内

TEL 093-761-3422 FAX 093-761-3660

